

春学期末ダイバーシティ関連アンケートについて

アンケートに協力して下さった皆様、ありがとうございました！！
アンケートの結果はALBOに配信されておりますのでぜひご一読ください。

パラリンピック紹介

アンケートではジェンダーに続き、障害に関して興味を持ってくださった人が多かった
ので、今回は障害をテーマに取り上げていきます！

障害には外見だけですぐに判断できるものとできないものがあるのはご存知でしょうか。
この**障害の二面性**をもっと知っていただくために、まずは目に見える障害に焦点を当てて、
「パラリンピック」について触れていきたいと思えます。

パラリンピックとは

パラリンピックは世界最高峰の障害者スポーツ大会です。オリンピックと同様に夏季
大会、冬季大会が4年に一度、オリンピックの後に開催されます。

パラリンピックと聞くと車いすを使った競技がイメージしやすいと思いますが、車いすを
使用する以外にも数多くの競技が存在しています。その中でも私たちが気になった競技に
ついて紹介していきます！

・ シッティングバレーボール

足などに障害のある選手が、コートの上に座った状態で行うバレー
ボールです。想像するだけで難しそうな競技ですが、選手達はお尻を床
につけたままでも驚くほどスムーズに動いています。

座ったままのスポーツとは思えないほどアグレッシブな攻防戦は是非
見ていただきたいです！



・ ゴールボール

視覚障害のある選手がプレーする競技です。鈴の入ったボールを投げ
合い、得点を競います。選手は「アイシェード」という目隠しを装着
し、全盲状態でプレーします。

味方の声や相手のかすかな足音を頼りに多彩な攻撃が展開されます。
静寂の中での白熱した試合に圧倒されるはずです！



コラム

今回は目に見えない障害に関する書籍や動画を取り上げました。
中々知る機会がない障害もあるので、少しでも興味があれば是非ご覧ください！

『ぼくはうみがみたくなりました』 山下久仁明

この物語は、自閉症の青年と看護学生があるキッカケで一緒にドライブすることから始まります。青年を取り巻く人たちの人生や心の成長がユーモラスに、またシビアに、そして穏やかに描かれています。あまり知られていない自閉症の症状や、周囲の対応などに焦点を置いているのでとてもオススメです！



小説編 

『パニック症の人の気持ちを考える本』 貝谷久宣

パニック症と呼ばれる病について具体的に紹介されています。この本を読むことで、突然激しい不安や目まいに襲われる当事者の苦しみへの共感や理解が深まると思います。また、外出時にヘルプマーク(下記参照)をつける患者もおり、そちらの理解にも繋がると思うので是非読んでみてください！



書籍編 

『チック症・トゥレット症「わざとじゃないのに」汚言や挙動に悩む当事者たち|#アベプラ』

<https://www.youtube.com/watch?v=Sfa0CTrvENs>
(YouTube)

チック症、トゥレット症と呼ばれる疾患を持つ当事者が障害の特徴や苦悩を赤裸々に語っています。

本編は AbemaTV で配信されています。YouTubeでは短編が投稿されているので、視聴してみてください！10分程ですが、初見の方でも十分に理解できる内容になっていますので大変おすすめです。

動画 

『聲の形』 京都アニメーション

(原作：講談社コミックス刊)

この映画は、将也と硝子の物語です。ある日、退屈嫌いの将也の学校に、難聴を患う硝子が転校してきます。将也は硝子に興味を示しますが、ある出来事を境に2人は離れてしまいます。それから時は経ち、数年後に2人は再会を果たします。さらに過去、2人に関係した人物たちも登場し、物語が進んでいきます。人間関係の困難さや障害者との関わり方を考えさせてくれる内容になっています！

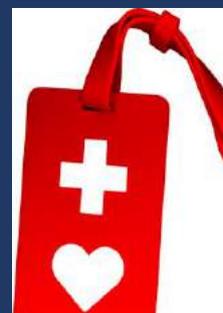


映画 

10月の1 Word! 「ヘルプマーク」

障害や疾患などがあることが外見から分からない人が、支援や配慮を必要としていることを周囲に知らせることができるマークです。主に、他人から見やすいカバンの取っ手などにつけている人が多く、片面には必要とする支援内容や通院先の情報を記したシールを貼っている人もいます。

このマークをつけている方が街や電車で困っていたら、優しく声をかけるなどの対応を心掛けましょう！



次号の特集「国籍」

配信予定 11月末ごろ